『日本オーラル・ヒストリー研究』投稿規定

投稿者は投稿規定・執筆要領を熟読のうえ原稿を執筆してください。また、最新版を学会ホームページに掲載しているので、必ず確認してください。投稿規定・執筆要領に従っていない投稿は受理しません。

① 投稿は会員に限ります。まだ会員でない方は、投稿する前に入会の手続きを済ませてください。なお、入会申込書の受理・会費の納入確認をもって入会手続きは完了します。

② 投稿原稿は原則として日本語か英語によるものとします。

③ 投稿は下記のカテゴリーで未発表のものとし、それぞれ規定の文字数で執筆してください。
なお、表題、英文要旨（論文のみ）、見出し、図表、注、文献リスト等も文字数に含みます。

A. 論文　16,000 字～28,000 字以内

B. 研究ノート 18,000 字以内 ※地域などでの聞き取り実践に基づく考察、研究の中間報告あるいは予備的考察や試論、研究の着想など、論文としての要件は必ずしも満たさないが発表する意義があるもの。

C. 聞き書き資料、実践報告、研究動向（国内外・回顧と展望）、資料紹介、書評論文等　18,000 字以内
※編集委員会が適当と判断したものも、受け付けます。

D. 書評・図書紹介　4,000 字以内
※会員の自著紹介を歓迎します。また、非会員の著書も歓迎します。

（英語論文に関しては執筆要領を確認、その他は編集委員会に確認してください。）

④ 論文の英文要旨は 200 語未満とします。英文の表題と要旨については、希望者には掲載決定後に編集委員会を通じ、校閲作業を依頼します。ただし、この作業にかかる費用は投稿者の自己負担とします。

⑤ 原稿は、執筆要領にしたがって、MS Word による横書きとします。審査用の原稿は、Word ファイルおよび pdf ファイル両方のデータを下記の編集委員会のメールアドレスまで電子メールに添付して送付ください。原稿のファイル名は「投稿の日付_投稿者氏名（ローマ字表記）」とします。
例）20220301_johataro.doc

⑥ 投稿者は別ファイルに、氏名、郵便番号と住所・電話番号、メールアドレス、所属機関と電話番号、投稿のカテゴリーを明記し、電子メールに添付してください。ファイル名は「投稿者」の氏名（ローマ字表記）とします。
例）johataro.doc

⑦ 投稿原稿 A・B は原則として査読審査を経て、編集委員会が掲載の可否を決定します。また、審査は匿名で行います。したがって、「拙著」「拙稿」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、執筆者と所属機関が特定できる情報は審査用原稿に記載してはいけません。ただし、掲載決定後に送っていただく完成原稿で修正・追記することができます。投稿原稿 C・D については、査読審査はせず、編集委員会が掲載の可否を決定します。その際に編集委員会からなんらかのコメントを送り、加筆修正を求めることがあります。

原稿締め切り：投稿原稿 A・B　3 月初め
投稿原稿 C・D　5 月末（投稿 A・B の査読結果締め切りと同時期）

⑧ 本誌に掲載された論文等は、原則として本誌発行 1 年後に電子公開します。掲載原稿の著作権の一部（複製権・公衆送信権）を、日本オーラル・ヒストリー学会に譲渡していただきます。著書などに転載する場合や、機関リポジトリ等へ電子データを搭載する場合には、必ず本会の許諾を得てください。

⑨ 当該論文の抜刷は、別途、有料にて制作可能です。ただし、50 部単位とし、抜刷の希望者は、初校返送時に編集委員会に申し出てください。

原稿送付先： 日本オーラル・ヒストリー学会編集委員会

joha.editors(at)gmail.com

『日本オーラル・ヒストリー研究』執筆要領（和文原稿）

2004 年 12 月 23 日

日本オーラル・ヒストリー学会編集委員会作成

（2008 年 10 月 2 日修正，2009 年 7 月 4 日修正，2012 年 7 月 7 日修正，2015 年 7 月 31 日修正，2016 年 7 月31 日修正，2018 年 2 月 1 日修正，2019 年 8 月 31 日修正，2019 年 12 月 17 日修正，2020 年 8 月 17日修正, 2022 年 9 月 11 日修正, 2022 年 12 月 31 日修正，2024年 9月 27日修正）

A. 論 文

1. 原稿は A4 判 横書き（1 頁全角 43 字×40 行相当）で、分量は 16,000 字～28,000 字以内（英文 5,000～8,000 words）とする。表題、英文要旨、見出し、図表・写真、注、文献リスト等も文字数に含む。図表・写真は掲載誌 1 ページの 4 分の 1 程度以内の大きさのものは 1 点につき 400 字で計算するものとする（したがって、2 分の 1 ページ程度のものは 800 字に換算する。サイズの判断は基本的に執筆者にまかせるが、編集委員会が変更を求める場合もある）。MS Word の文字カウント機能を利用して数え、スペースを含めた本文の字数と、図表・写真の点数と上記ルールに従って換算した字数を、それぞれ原稿の冒頭に記載すること。

2. 提出する原稿の書式は次の通りとする。

（1）第 1 頁の構成

1 行目　和文題目（全角、中央揃え、副題がある場合は 2 行にわたることも可。副題の前後に――（2 ダッシュ）をつける）

2 行目　英文題目（全角、中央揃え、副題がある場合は 2 行にわたることも可。副題は：（コロン）を最初につける）

3 行目　空白行

4 行目　執筆者氏名（右寄せ）　※審査用原稿では空白行にする。

5 行目　執筆者氏名の英文表記（半角、右寄せ）　※審査用原稿では空白行にする。

6 行目　空白行

7 行目　英文要旨（半角、10 行以内）

1 行空白ののち、キーワード 3 点（全角、中央揃え）

（例）　キーワード：　社会移動，　移民女性，　世代

1 行空白ののち、本文をはじめる。

（2）本文中の小見出しの表記

1)章：1. ～　　2. ～　　3. ～

2)節：（1）～　（2）～　（3）～

3)項：1）～　　2）～　　3）～

（3）本文への注

該当箇所の右肩に（1）（2）（3）……を付し、注は本文末尾に一括する。MS Word の脚注機能は使用しないこと。

（4）文献リスト／文献注

1)本文と注で言及する参考・引用文献等は、一括してアルファベット順に並べたリストを作成し、論文末尾に付す。

a）各文献の表記は、基本的に、書籍の場合、著者氏名＋西暦発行年＋書名＋出版社、論文の場合、著者氏名＋西暦発行年＋論文名＋掲載誌名・巻・号（または編者氏名・収録書名・出版社）＋ページ、とする。

b）同一著者が同一年に発行した複数の文献は、発行年を 1987a，1987b，1987c…のように表記して区別する。

c）翻訳書には原著者名を付し、原著書と翻訳書の双方の発行年を明示する。

d）ウェブサイト上の情報を参照した場合は、著者＋公開年もしくは最終更新年（不明な場合はアクセスした年）＋タイトル＋ウェブサイト名（不明な場合は省略可）＋取得した年月日＋当該サイトの URL を明記する。

e）その他、表記法の細部は、以下の事例や一般学術誌の形式を参照。1 件が複数行にわたる場合には、2 行目以降は全角 2 字分下げる。

（例）

桜井厚，2002,『インタビューの社会学──ライフストーリーの聞き方』せりか書房.

小林多寿子，2000,「二人のオーサー──ライフヒストリー実践と呈示の問題」好井裕明・桜井厚編『フィールドワークの経験』せりか書房，101−14.

Yow, Valerie Raleigh, 2005, *Recording Oral History: A Guide for the Humanities and Social Sciences*, 2nd Edition, AltaMira Press（＝ 2011，吉田かよ子監訳・訳　平田光司・安倍尚紀・加藤直子訳『オーラルヒストリーの理論と実践──人文・社会科学を学ぶすべての人々のために』インターブックス）.

Hokari, Minoru, 2002, “Maintaining History: The Gurindji People’s ‘Truthful’ Histories,” *Cultural Survial Quarterly*, 26(2): 26-27.

日本社会学会，2006,「日本社会学会倫理綱領にもとづく研究指針」日本社会学会ホームページ（2020 年 6 月 23 日取得，https://jss-sociology.org/about/researchpolicy/）.

2）文献注は、上記文献リストへの参照指示という形で記す。すなわち、本文や注の該当箇所に［著者の姓＋西暦発行年＋該当ページ］を記してリストの該当文献の参照を指示する、という形式をとる。

（例）
［呉 1997：208］
［好井・桜井編：52］
［Yow 2005=2011］　※翻訳書は［原書の出版年=訳書の出版年］

（5）執筆者の所属・職業・研究分野・立場等、電子メールアドレス

文献リストのあと 1 行空けて、論文末尾に、執筆者の氏名ふりがな、所属・職業・研究分野・立場等を（）に入れて右寄せで表記する。電子メールアドレスを入れることもできる。ただし、審査用原稿には記入しないこと。　（例）（じょは たろう，○○大学講師 ／ joha××××@○○.ac.jp）

（6）その他

1）他の著作物から図や表、写真を引用した場合は、出典を明記し、投稿時に著作権保持者から許可を得る。
2）図・表は、それぞれ【図−1】【表−1】のように通し番号をつけ、タイトルをつける。なお、タイトルは、図の場合にはその下に、表の場合はその上につける。
3）アラビア数字やアルファベットは半角にする。
4）（ ）「 」『 』［ ］【 】等のかっこは全角にする。

3. その他

（1）著者校正の際には、形式上の訂正に限り、論文内容の変更は認めない。
（2）抜刷は、有料にて制作可能とする。

B・C. 研究ノート、聞き書き資料、実践報告等

1. 原稿は A4 判横書き（1 頁全角 43 字×40 行相当）で、分量は 18,000 字以内とする。
2. 書式は［A. 論文］に準ずるが、英文要旨は必要としない。

D. 書評・図書紹介

1. 原稿は A4 判横書き（全角 43 字）で、100 行程度とする。

Japan Oral History Review Author Guidelines for English Submissions

Submission of Manuscripts

1. Membership: Contributors to *Japan Oral History Review* must be a member of the Japan Oral History Association to be eligible for submitting a manuscript.

2. Manuscripts should be written in either Japanese or English.

3. The categories for submission are full research article, research report, interview transcript, book review,

and publication announcement.

The guidelines for each are listed below:

(1) Research Article

1) Manuscripts should be previously unpublished work.

2) Submissions should be on A4 size paper, 40 lines per page. (English manuscripts should be in 12 - point font size; Japanese manuscripts should be 43 characters per line in 10.5- point font size.) Manuscripts should not exceed 8,000 words double- spaced in length including the title, abstract in Japanese, keywords, headings, subheadings, notes, references, and tables. Each table and figure should count as 100 words regardless of the size. Manuscripts should be submitted in triplicate, double-spaced throughout (including footnotes and quotations), and prepared, in principle, according to *The Chicago Manual of Style*.

3) Format for the first page:

1st line: title in English (centered, can be two lines in the case of a subtitle)
2nd line: title in Japanese (centered, can be two lines in the case of a subtitle)
3rd line: ～ 6th line: blank
7th line: Japanese abstract (within ten lines)
One blank line, then three keywords (centered)
One blank line, then begin text
Below the bibliography, leave one line blank; below that, write the author's name, institutional affiliation, if any, and email address

Tables, Graphs and Photographs:

Tables, graphs and photographs should be included on the appropriate page in the manuscript.

If they are taken from another publication, this should be indicated and permission should be obtained from the copyright holder.

Tables, graphs, and photographs should be numbered and titled with photograph titles below the photograph but table titles above the table.

(2) Research Report

Submissions should be on A4 size paper, 40 lines per page. (English manuscripts should be in 12- point font size; Japanese manuscripts should be 43 characters per line in 10.5- point font size.) They should be about 5,000 words.

The other format requirements are the same for a research article submission except that no abstract is required.

(3) Book Reviews, Publication Announcement

1) The submission should be on A4 size paper approximately 100 lines long.
2) The format otherwise should be the same for a research article submission except that no abstract or keywords are necessary.

Submission Procedures:

Authors should submit a Microsoft Word version of the manuscript to the e-mail address indicated on the JOHA homepage as an e-mail attachment.

Articles are subject to anonymous review and approval by the editorial board. Give your name, address and contact information (telephone number, e-mail address) on a separate title page and the abstract in Japanese (300 characters).

Book reviews, news from abroad, and other reports may be accepted if they are deemed appropriate for this journal. The decision of the editorial committee is final and irrevocable.

Copyrights

Authors publishing in the *Review* will be asked to sign an Exclusive License Form. In signing the form, it is assumed that authors have obtained permission to use any copyrighted or previously published material.

The *Review* provides offprints to the authors at her/his own cost.